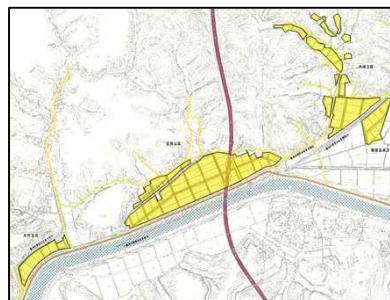


# 加茂西地区 経営体育成基盤整備事業（農業生産法人等育成型）

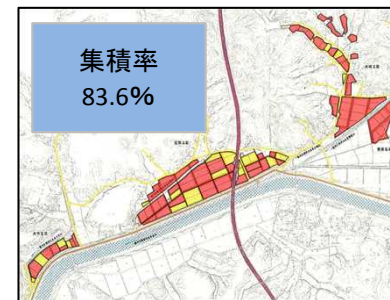


## 【事業概要】

受益面積: 30.4ha  
 工期: 平成18年度～平成22年度  
 総事業費: 589,000千円  
 農業経営のタイプ: 組織経営(生産法人)



「うなん加茂西」への農地集積 (H24年度末)



## 【地区の概要】

加茂西地区は一級河川赤川の流域に位置する農地で、平坦地部ではあるものの、不整形の区画と、狭小な耕作道路や用排水路のため営農効率が上がらない状況でした。また、地区内では営農組合を設立し共同作業化を進めていましたが、隣の農地を経由しないと機械の搬入ができない農地もあり、農作業機械の大型化には限界がありました。

また、地区の大部分は、天井川である斐伊川水系赤川と隣接しているため、地下水位が高く基盤が軟弱な農地となっていました。

## 【基盤整備の概要】

10a未満で不整形だった農地を30aの標準区画として整備し、併せて道路・水路の整備を行い、大型機械による法人経営が図られるよう整備を行いました。

また、高い地下水位と軟弱基盤への対策として、客土を行いほ場全体をかさ上げしました。

## 【担い手の育成と農地の集積】

・事業を契機として、平成19年2月に「農事組合法人うなん加茂西」が設立され、地区内農地の84%を集積している。

## ～農家の声～

### 【ほ場整備の効果】

- ・大区画のほ場となり、耕作道路、パイプライン、排水路も整備され、効率が良く安定した農業経営ができています。
- ・ほ場整備を契機に設立した農事組合法人には集落の大半が加入し、農業後継者の不足も解消できている。
- ・個人農家も以前に比べ農作業時間が短縮され、収益と生産性が向上している。

### 【今後の組み】

- ・エコ米の生産を始め、収益や消費者ニーズによっては拡大していく予定である。

## 【事業実施の効果】

- ・労働時間の短縮 44時間 ⇒ 10時間
- ・生産費用の縮減 169千円 ⇒ 54千円  
 (いずれも水稻の年間10aあたり)

